

No de débit

朝日ジャーナル
ASAHI JOURNAL (W)

Paris Bemalé

77. 5. 6

A

文化ジャーナル

美術



マタラツツオの死とビエンナーレ
第一回展を迎える今年のサンバ
ウロ・ビエンナーレは、今秋一〇月
一日から一二月一八日まで開催され
ることに決定したが、先週号のこの
コラムでも触れられていたように、
今回から国別展示を廃止し、「現代
の提言」、「アンソロジー的展示」、「偉
大なる対決」の三部門に分け、部門
別展示という方式を打ち出した。ベ
ネチア、パリの両ビエンナーレがい
ろいろに手直ししてきたのにに対し、
授賞制度を含めて組織形態を変えて
こなかったサンバウロ・ビエンナーレ
だけに、大変貌である。もつとも、
この新方式がどういう結果にな
るかは、幕を開けての話であろう。
ところで、今秋の開幕を前にし

て、このビエンナーレの絵の実力者
ともいべき人物が去る一六日に世
を去ったことが報じられた。フラン
シスコ・マタラツツオがその人であ
る。サンバウロ・ビエンナーレは一
九五一年に始められたが、マタラツ
ツオは創設以来のこのビエンナーレ
の大スポンサーであり、いわば生み
の親であり育ての親ともみられてき
た人物である。当初はヨーロッパ、
アメリカの現代美術をブラジルに紹
介することが主たる意図だったよう

(立林)

朝日ジャーナル

だが、二回展から今回もなお継続し
ている授賞制度が設立された。この
大賞の資金（一万二五〇〇）を提供
してきたのもマタラツツオ財團だ。
ビエンナーレは、国、州、市も加
わった「サンバウロ・ビエンナーレ
財團」によって運営されているが、
その主力はマタラツツオの資力であ
り、彼は没するまでこの財團の会長
の位置にあった。ブラジル有数の財
閥の主として、ビエンナーレを左右
するワンマンなどという陰口も聞か
れらしいが、国際展といつたいわ
ば移りゆくものに資金を提供し、
サンバウロ・ビエンナーレを支えて
きた功績はきわめて大きいというべ
きであろう。

ビエンナーレは今日、その組織上
の問題を種々かかえていて、今回の
サンバウロ・ビエンナーレの新方式
もそのひとつあらわれたが、もう
ひとつの大問題は経済的なそれであ
る。パリ・ビエンナーレの予算の少
なさは驚くべきものようだが、サ
ンバウロはその点が強かつた。マタ
ラツツオ没してビエンナーレがどう
こうなるとは思われないが、その死
の影響は皆無とはいえないだろう。